

ふれあい祭りに

ちんどんがやってきました



香南っ子映像倶楽部は、香南ケーブルテレビと香南中央公民館が共同で、リポーターやナレーターをやつてみたい市内の小学4年生から6年生を募集し、集まった小学生たちで平成30年に発足したサークルです。これまでに、香南市の特産品である山北みかんを紹介するグルメリポーターを行うなど、さまざまなことに挑戦してきました。その様子は、香南ケーブルテレビの番組で毎月放送されています。

広報編集委員 担当/井上桂子

ちんどんを学ぶ

活動2年目を迎えた「香南っ子映像倶楽部」は、1期生14人に2期生が加わり、現在24人が活動しています。

県の公民館大会でその活動が発表されたり、「日本ケーブルテレビ大賞番組アワード」で優秀賞を受賞したりするなど、県内外から注目を集めています。

今回、「ちんどんをしてふれあい祭りを盛り上げよう」という取り組みに挑戦する子どもたちも取材しました。

11月6日(水)香南ケーブルテレビに集まったのは、今回ちんどんに挑戦する香南っ子映像倶楽部の8人の子どもたち。

ちんどんについては、聞いたことはあつても見たことはないという人がほとんどで、この日は、野市ちんどん倶楽部の田中淳一さん(84)から「ちんどん」について学習するのです。

自分たちらしく

自分たちでちんどんをするために、まず音楽を決めることから始めることに。学校で習ったことがあり、ちんどんに合う曲を、というところで「聖者の行進」に決定。続いてそれぞれが得意な楽器や、やってみたい楽器を出し合います。田中さんから「手作りの楽器でも面白いかも」とアドバイスがあり、手作りの楽器も取り入れることにしました。

次は、メイクと衣装へと進み、用意されたプリントに自分がやってみたいメイクと衣装を書き込む作業をして、イメージを膨らませました。



▲メイクと衣装を考え中

ちんどん体験

楽器や衣装を持ち込んで、練習が始まりました。楽器を吹いたり叩いたりしながらのパフォーマンスも、ただ歩くだけでなく後ろを向いたり回ったりと工夫が重ねられていきます。

そして、メイクにも挑戦。口紅を塗ったり、眉を濃くしてみたり、ホクロを入れてみたり……。別人のようになった顔が出来上がると楽しさと同時に恥ずかしさも垣間見えます。練習が終わるとふれあい祭りのチラシ作りにも励んでいました。

11月20日(水)は、いよいよちんどん体験。のいち駅とフジグランでふれあい祭りの宣伝をしました。この日は、自分たちでメイクを考えて、おしろいを塗ったり、口紅をつけたりする姿



▲ふれあいセンターでの練習の様子



▲フジグランの店内でちんどん披露



パワー全開、ふれあい祭り

ふれあい祭り当日、朝8時からの準備はメイクから。おしろいを塗り、眉を描き、口紅を塗るのも練習した甲斐あつて自分でできるようになっていきます。眼鏡やひげを書き加えたり、目をつぶっても大きな瞳に見えるよう、まぶたに大きな黒目を描いたり楽しんでいました。

いよいよ1回目のちんどんが始まりました。まだお客さんは少ないけれど、出店の人たちが温かく見守ってくれます。2回目、3回目と進むにつれて、お客さんもちんどんが増えて、みんな慣れて楽しんでるようでした。

見ている人たちからは、「かわいい。いいですね」「子どもちんどんは」初めて見た。楽しいですね「頑張っています」といつ



た声やスマホで撮影する人たちの姿が。

ちんどんの合間には、香南っ子映像倶楽部の子どもたちが考え、野市町にあるパン屋さんが作った酒かす生食パンの販売。「おいしいですよ。買ってくださーい」「ふわふわの食パン、お昼にいかがですか?」「香南市特産の酒かすを使っています」などと、宣伝の言葉が次々と出て来て大活躍。あつという間に完売しました。いつの間にか恥ずかしさはどこへやら、みんな「すごく楽しい」と、ちんどんは大成功でした。

パワフルな活動を終えた香南っ子映像倶楽部。さらに、令和元年12月には、香南っ子映像倶楽部の子どもたちが考え、香我美町にあるジェラート屋さんで作った「こーにゃん最中」を販売するなど、これからも、いろいろな活動を行っています。

募集中

香南っ子映像倶楽部に体験調べてほしい・挑戦してもらいたいこの企画を募集しています。

また、第3期生も、3月1日から募集しています。小学4年生以上で興味のある方は、ぜひご応募ください。

お問い合わせ
香南中央公民館
☎ 56-1056



ちんどんに挑戦したよ!